

平成27年度第2回技術講習会



主催者開会挨拶



講習始まる

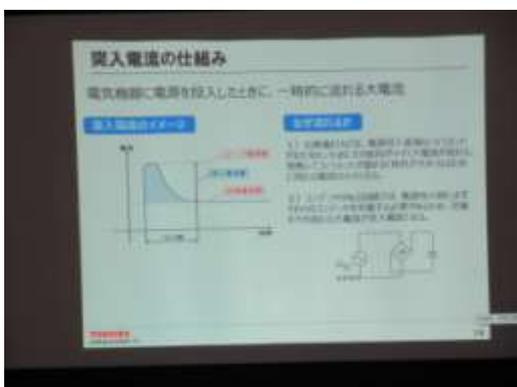
第2回技術講習会は、日頃協会活動をご支援頂いている賛助会員の東芝ライテック株式会社西日本支店と連携し、「LED照明の正しい知識について」をテーマに、同社のB to B向けショールーム「C O O-L A B [コ・ラボ] 大阪・梅田」において、平成28年2月15日（月）に開催しました。

照明市場は、白熱灯・放電市場からLED市場へと大きく様変わりしてきています。そこで、創業以来培ってきた「あかり技術」でLEDの新たな可能性を引き出し、人々に安らぎと感動を与える「あかり文化」の創造に注力されている同社と連携し、改めてLEDの性質、仕組み、構造等を研修することをねらいに企画されたもので、代表取締役をはじめ会社で資材や施設営業を担当される幹部社員など18名の参加がありました。

講師は、同支店関西企画担当の由井秀樹氏にお務めいただきました。1時間にわたり、LED製品に関連するJIS規格、照明寿命の考え方、突入電流の起因、非常用照明器具の開発動向そして調光制御の技術などをレクチャーいただき、更に、会員の営業活動に資するよう、タイムリーな情報として公共施設用照明器具改正の動き、国の27年度補正予算で措置された中小企業等省エネ・生産性革命投資促進事業について紹介いただきました。

その後、約1時間、高所までシミュレーションができる昇降天井を備え、実際の照明仕様が体感、実感できるショールーム内で、倉庫、工場、オフィス、店舗などの用途に応じたLED照明器具の案内を受けました。

講義の中では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックが新たな節目となり、2030年に向けてLED照明がほぼ100パーセント市場を占めるのではないかと指摘もあり、会員企業が今後の営業活動、事業機会を考えていく上で大いに参考とできる講習会となりました。



講義の様子